

WB4

DX時代の情報教育  
ー続：コロナ対応としての  
情報教育のオンライン実施ー

AXIES情報教育部会・企画

日時: 2021/12/15 13:30~15:00

# セッション概要（2021情報教育部会企画）

2021年現在も感染症対策のために大学での授業の多くが実施形態の変更を余儀なくされています。

情報教育においても、様々な取り組みが各大学において継続的に行われています。一方で大学や社会におけるDXの急速な進展にともない、情報技術の役割や課題、情報倫理などについて学ぶ機会を提供する必要性が生じています。

本セッションでは、昨年に引き続き、複数の大学から情報教育の事例をご紹介いただき、今後の情報教育に向けた議論を行います。

また、本セッションでは情報教育部会タスクフォースにて制作している情報倫理ビデオ小品集の新作を披露します。

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| パネラー   | 白井 詩沙香先生（大阪大学）        |
|        | 長瀧 寛之先生（大阪電気通信大学）     |
|        | 稲垣 知宏先生（広島大学）         |
|        | 西野 和典先生（太成学院大学）       |
| オーガナイザ | 和田 智仁（鹿屋体育大学）情報教育部会主査 |
|        | 布施 泉（北海道大学）同副査        |
| 提案責任者  | 和田 智仁（鹿屋体育大学）         |

企画意図  
変化する現状を踏まえた  
教材・学習方法・  
学習環境・評価方法  
等に関する知見の共有を  
目指して

**昨年企画から継続：昨年資料はAXIES情報教育部会ページに掲載済み**

<https://ite.axies.jp/sig/64/>（←昨年度） <https://ite.axies.jp/sig/79/>（今年度予定）

# 予定

- 13:30～13:35 概要説明  
13:35～14:30 事例紹介（各パネラー10分前後程度）  
14:30～14:55 全体での議論  
（関連で情報倫理ビデオ新作披露を含む）  
14:55～15:00 まとめ

質問・コメント

※以下（右QR）からお寄せください。

<https://liveq.page/ja/TqpSya9xQCeNglib50uu>



# パネラーへの依頼内容（以下順でご発表）

白井先生：阪大の情報教育の実施内容のご紹介

長瀧先生：ハイフレックスでの実施における工夫や  
PC必携化に関する事例紹介

稲垣先生：広島大学での大人数授業の授業実施  
（少人数グループでの議論等のご紹介を含む）

西野先生：高大接続の観点から。  
学習指導要領改訂に伴う高校の情報科の新しい内容や授業開  
始に向けての準備状況、共通テストでの「情報Ⅰ」の導入の  
意義等

—  
※和田・布施：どこかのタイミング（全体議論含む）で情報倫理ビデオ  
新作をちらと披露

企画意図  
変化する現状を踏まえた  
教材・学習方法・  
学習環境・評価方法  
等に関する知見の共有を  
目指して

# 全体議論

<https://liveq.page/ja/TqpSya9xQCeNglib50uu>



変化する現状を踏まえた 教材・学習方法・学習環境・評価方法

- ・オンライン（ハイブリッドやハイフレックスを含む）  
のメリット・デメリット：  
学習内容や項目への依存（学習者の多様性に対する修学支援的内  
容も該当するかも）
- ・教材や学習手法や工夫等の共有化  
※資料やリンクをAXIES情報教育部会のページに掲載していきたい。

# 情報倫理デジタルビデオ小品集 8 (教材の紹介)

## 情報社会の生活・情報社会の権利

- みんなにやさしいホームページ
- AIは万能じゃないのね。
- フェイクニュースの社会への影響
- オンライン授業での心がけ
- 何がダメで何がOK?著作権法の改正とネット配信

- 情報を受け取る利用者の多様化と技術の進展
- \* アクセシビリティ：視覚障碍, ディスレクシア等への配慮
- \* AIの知識とELSIの観点
- \* 情報の受け手・送り手としての心構えと責任
- \* オンライン授業での配慮事項と肖像権等の権利
- \* 情報化を踏まえた著作権法の改正・著作権の権利制限規定

## アプリの利用とプライバシー・情報セキュリティ

- 「どこに」「だれと」は秘密にしたい スマホとプライバシー
- Cookieでパーソナライズ あなたの意見は?
- フィッシングに釣られるな!

- \* 位置情報を共有するスマホアプリにおける問題, 接触確認アプリの仕組み
- \* Cookieと, その使用を同意する意味, プロファイリングとの関係性
- \* フィッシングの手口と被害への啓蒙 (IPAによる情報セキュリティ10大脅威2021の個人パート第2位)

# 教材コンセプト：親近感・リアリティ＋最新/重要知識

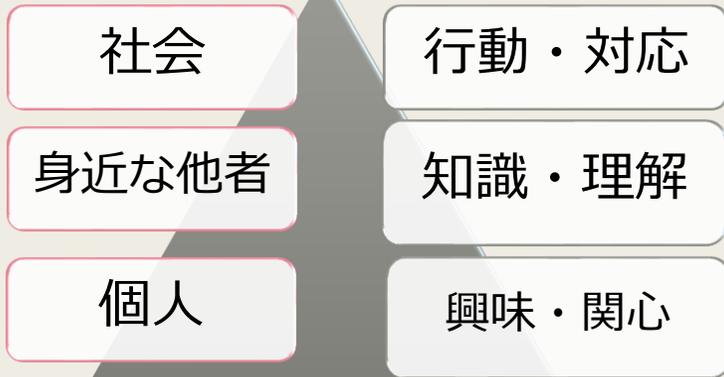
# 学習のポイント（担当者向け）



物語編



解説編



影響範の把握

学生個々の意識の向上



フェイクニュースの社会への影響

物語編 [3分55秒] 解説編 [3分31秒]

同級生がネット犯罪者になったらしい。ネットからその情報を得た2人が心配しているところに、話題の本人が登場する。全く身に覚えがない彼はとまどう。どうやら他人の仕業らしい。彼の疑いは晴れるのか。真犯人の情報はシェアすべきなのか。

## ■学習目標

- 情報の受け手としてのネットの書き込みの真偽を確かめることの難しさを説明ができる。
- 情報をシェアする
- 犯人を特定することで、自分の意見を
- 以上を通じて、SNS

●DVDに担当者向けの学習のポイントを掲載（新規全8クリップ）

## ■授業実施における

- 情報のシェアの頻度
- SNSの情報の真偽の重要性を確認し、送り手となる。シェア
- 本人特定をしてそ

\* 学習目標

\* 授業実施における留意点

\* クリップの使用例

\* 関連資料・URL

## ■クリップの使用例

### 視聴前

各自の利用頻度とシェアの頻度を確認させる。シェアしようと思う情報とはどのような情報か（情報の信憑性、有用性、話題性など）を考えさせる。

### 物語編視聴後

「SNSなどを駆使して、本人特定をしたことがあるか」など自身のこれまでの行動を振り返って、本人を特定したことがあるかどうか確認させる。本人特定をしたくなる理由、特定するべき理由などを、意見を出させた後に、それぞれが犯人と疑われた場合を想定させて、同じ意見かどうかを考えさせる。

### 解説編視聴後

特定することのメリットとデメリットを挙げ、なぜ私たちは本人を特定しようとしてしまうのが議論させる。

## ■関連資料・URL

・ネットの時代におけるデマやフェイクニュース等の不確かな情報(総務省)

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/special/fakenews/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/fakenews/)

# 遠隔からのオンライン参加者の皆様へ

情報倫理デジタルビデオ小品集 8 のDVDのご購入  
今年次大会におけるディスカウント（5000円->3000円）

<https://www.datapacific.co.jp/axies2021.pdf>

**特別価格の購入申し込みは17日（金）まで受け付け**

上記PDFに記入しメール添付or必要事項をメール本文に記入の上、下記のメールアドレスまで送付（メールアドレスは上記URLにも掲載済み。17日（金）中の申し込み分まで有効）      cherry@datapacific.co.jp